資料　5

第６次武豊町総合計画策定に係る
意識調査［アンケート］の結果【概要】

第６次総合計画の策定に向け必要となるデータを得るために、次の５種類の調査を実施しました。

ア　①町民意識調査・②中学生意識調査・③若者・子育て世代アンケート調査

イ　④企業・事業所アンケート調査

ウ　⑤来訪者Ｗｅｂアンケート調査

本資料は、意識調査［アンケート］の結果の要点を取りまとめたものです。

調査の概要

それぞれの調査の対象、方法、期間、回収状況は以下の通りです。

① 町民意識調査	
調査対象	・武豊町在住の 15 歳以上の町民から無作為抽出した 3,000 人
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成 30 年 11 月 19 日に郵送にて配布し、12 月 7 日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 3,000 票　有効回収数 1,318 票　有効回収率 43.9%

② 中学生意識調査	
調査対象	・武豊町の中学校に在学する中学生（中学１・２年生 897 名）
調査方法	・学校を通じた配布・回収
調査期間	・平成 30 年 11 月 19 日から配布し、12 月 10 日までに回収
回収状況	・配布数 897 票　有効回収数 862 票　有効回収率 96.1%

③ 若者・子育て世代アンケート調査	
調査対象	・町内の 18 歳以上 40 歳未満の町民から無作為抽出した 1,000 人
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成 30 年 11 月 19 日に郵送にて配布し、12 月 7 日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 1,000 票　有効回収数 323 票　有効回収率 32.3%

④ 企業・事業所アンケート調査	
調査対象	・武豊町内に立地する企業・事業所から無作為に抽出した 500 事業所
調査方法	・郵送による配布・回収
調査期間	・平成 30 年 11 月 19 日に郵送にて配布し、12 月 7 日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 500 票　有効回収数 186 票　有効回収率 37.2%

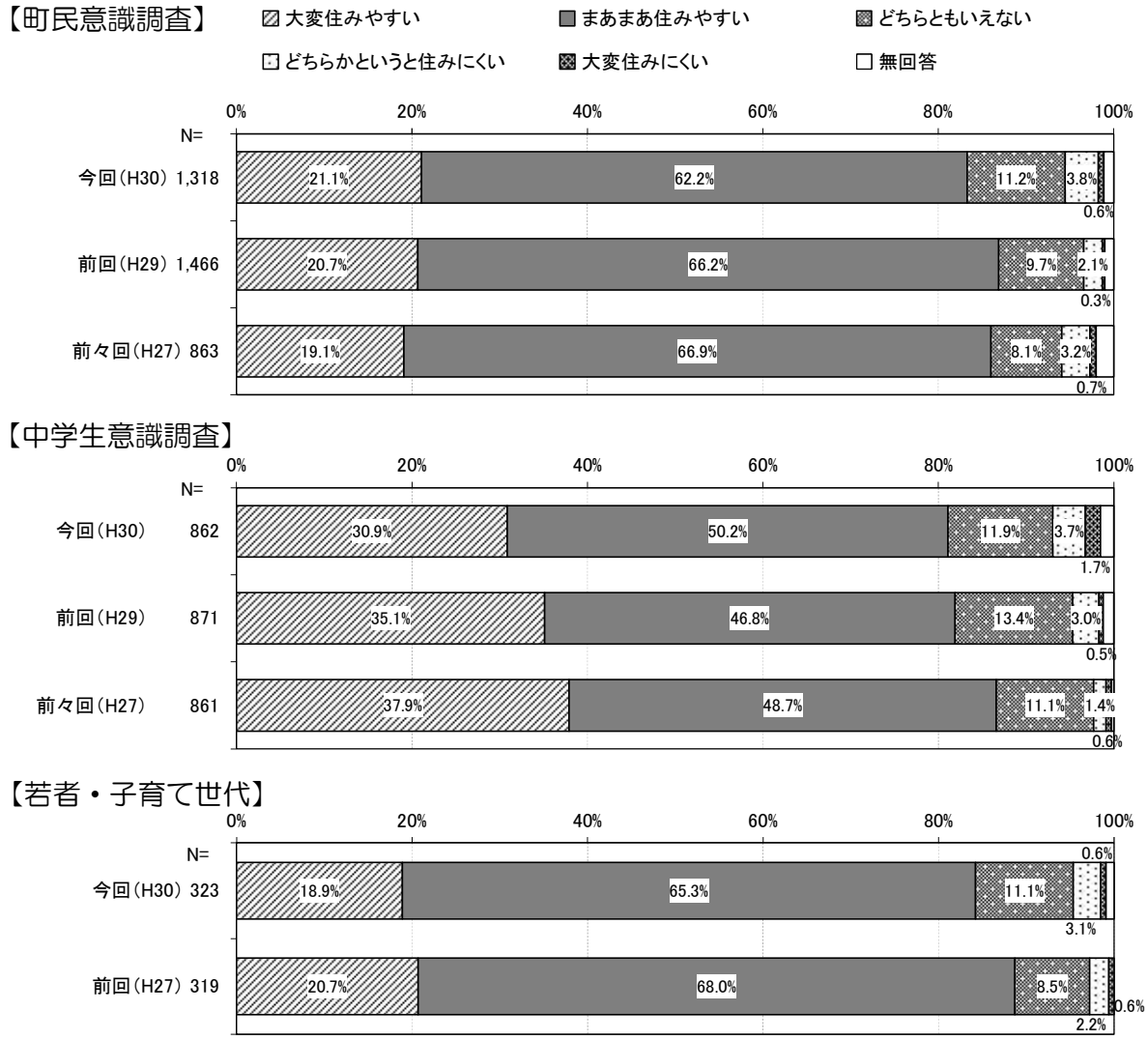
⑤ 来訪者 Web アンケート調査	
調査対象	・ｄポイントクラブ会員を対象とし、その中で半年の間に武豊町に来訪履歴のある愛知県在住者
調査方法	・Web 上でのアンケート
調査期間	・平成 30 年 12 月 21 日より調査開始し、平成 31 年 1 月 4 日に終了 （調査を開始し、目標回収数（1,000）が達成した時点で終了した）
回収状況	・回収数 1,020 票

ア　調査の結果【①・②・③】

（1）武豊町の暮らしやすさ

・『図表-1　町の住みごこち』では町民意識調査、中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査のいずれの調査でも、**８割以上の回答者が『住みやすい（「大変住みやすい」＋「まあまあ住みやすい」）』と評価**しています。中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査では前回（平成 29）調査、前々回（平成 27）調査と比較すると若干の低下傾向がみられます。

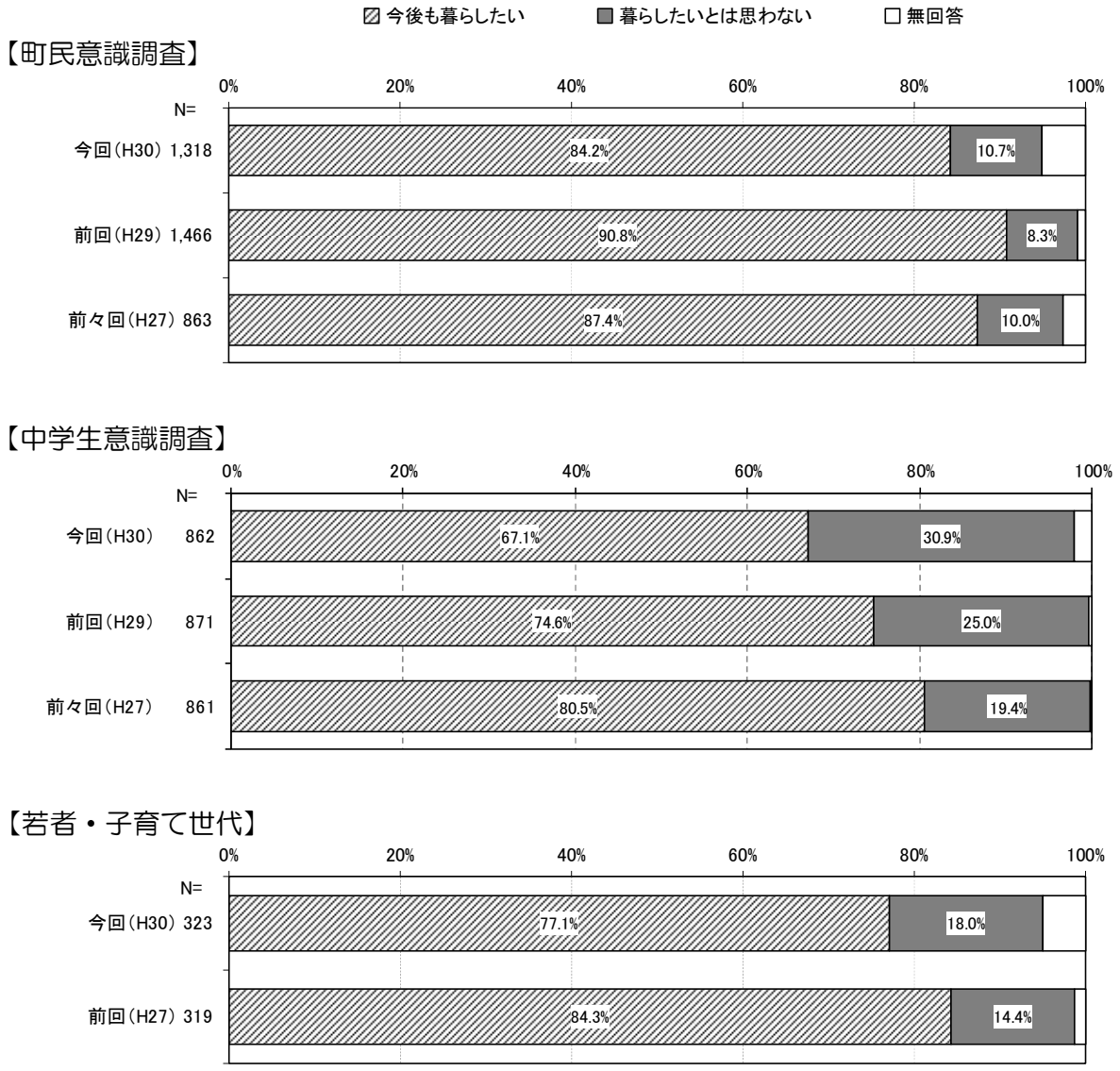
『図表-1　町の住みごこち（過去調査との比較）』



※若者・子育て世代アンケート調査は平成 29 年は未実施。

・『図表-2　今後の居住意向』では、「今後も暮らしたい」の割合は**町民意識調査では８割を超える高い値を堅持**していますが、中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査で値は低下しています。中学生では「今後も暮らしたい」は前々回（平成 27 年）から調査ごとに６～７ポイント低下しています。また、若者・子育て世代でも約７ポイント低下しています。

『図表-2　今後の居住意向（前回調査比較）』



※若者・子育て世代アンケート調査は平成 29 年は未実施。

（２）幸福度

・『図表-３　現在の幸福度』では幸福度の平均点※は、町民意識調査及び、中学生意識調査では経年的にみると６～７点の間を推移しています。

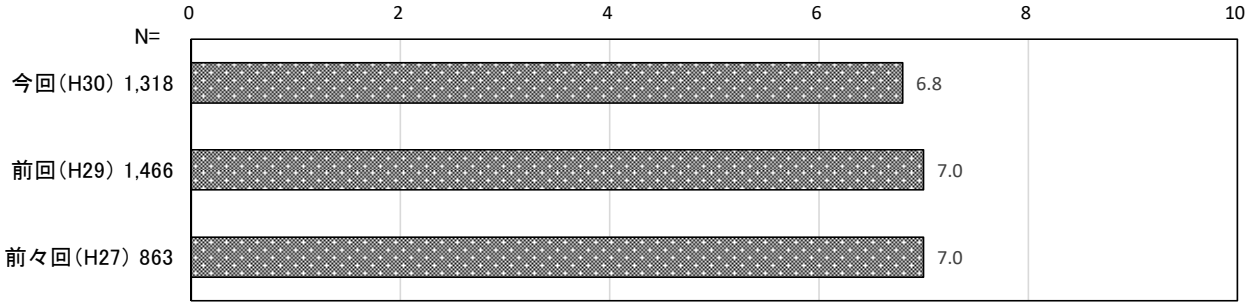
・『図表-４　５年前と比べた幸福感の変化』では町民意識調査では、「より幸せになった」と感じている方の割合が減少しており、「変わらない」とする方が増えています。

「より幸せになった」と「変わらない」を合計すると約９割を超える方が幸福感を維持しています。

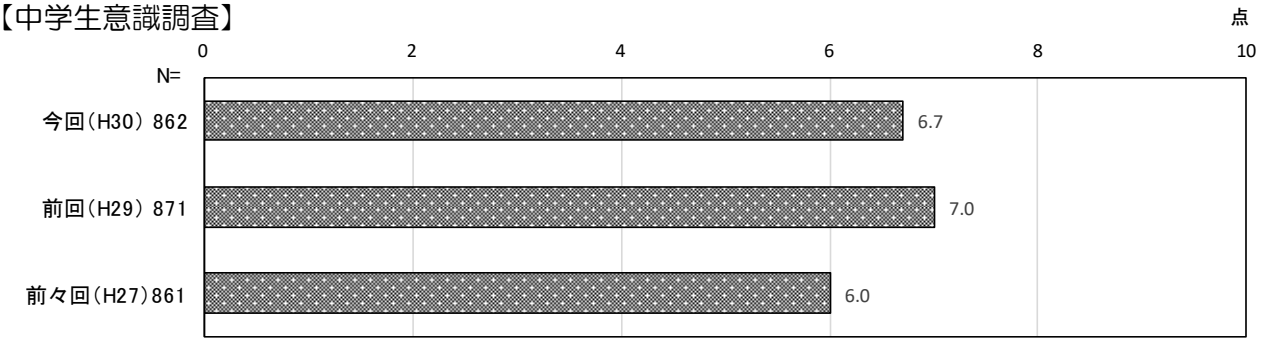
※幸福度の平均点：回答者が幸福度について１０段階評価した点数を平均したものです

『図表-３　現在の幸福度（前回調査比較）』

【町民意識調査】

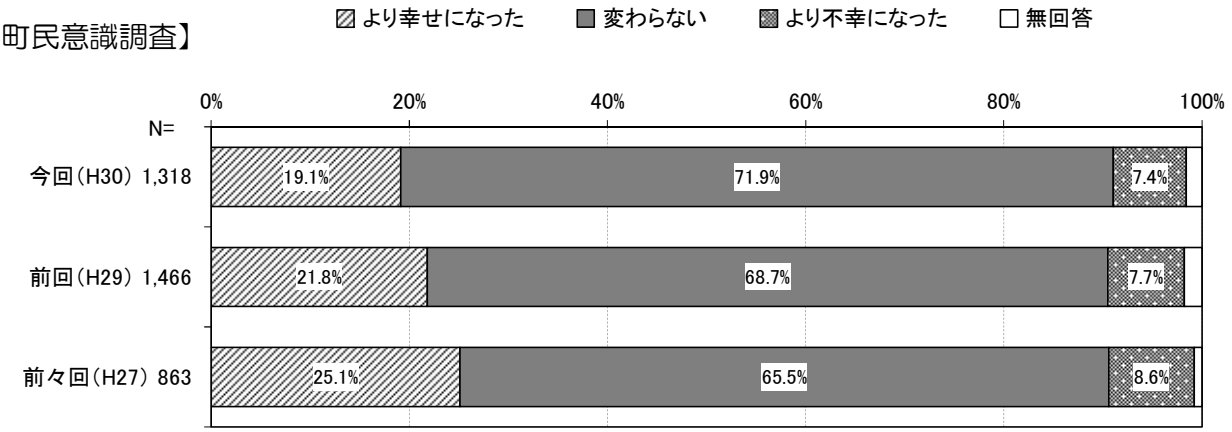


【中学生意識調査】



『図表-４　５年前と比べた幸福感の変化（前回調査比較）』

【町民意識調査】



（３）武豊町への愛着、町の魅力

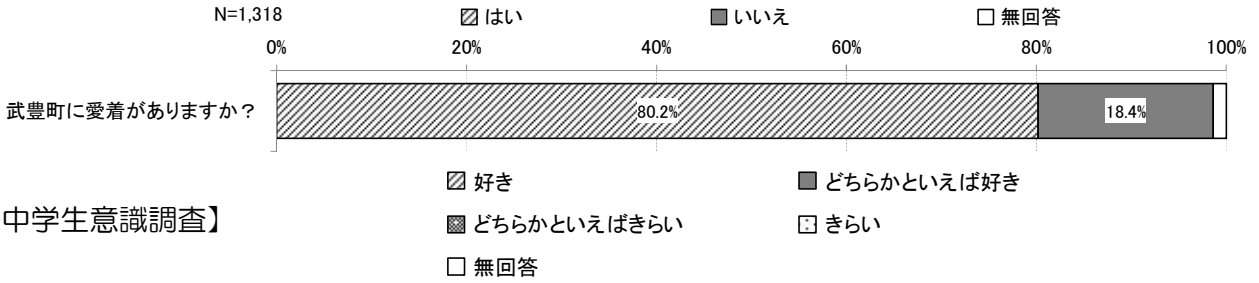
・『図表-５　武豊町への愛着』では**町民意識調査で、８割以上が「武豊町に愛着がある」と回答**しています。また、**中学生意識調査でも、８割以上が『武豊町のことが好き』と回答**しています。

・『図表-６　武豊町への愛着や親しみ』では若者・子育て世代アンケート調査で、約７割が武豊町への「愛着や親しみを感じている」と回答しており、**20～24 歳では８割以上が『感じている』と回答**しています。このように町民の多くは町への愛着を持っていることがわかります。

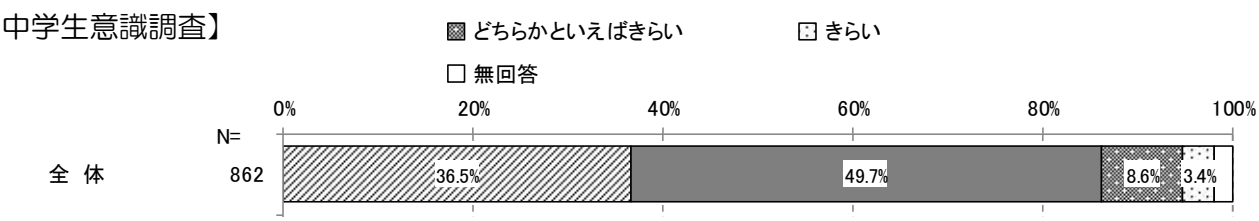
・『図表-７　町の魅力、自慢できること』では武豊町の魅力、自慢できると思うことについては、**「山車・祭りなどの伝統文化」**、**「良好な居住環境」**の２つが３割以上の回答を得ています。「山車・祭りなどの伝統文化」はすべての年代において高い回答となっています。

『図表-５　武豊町への愛着』

【町民意識調査】

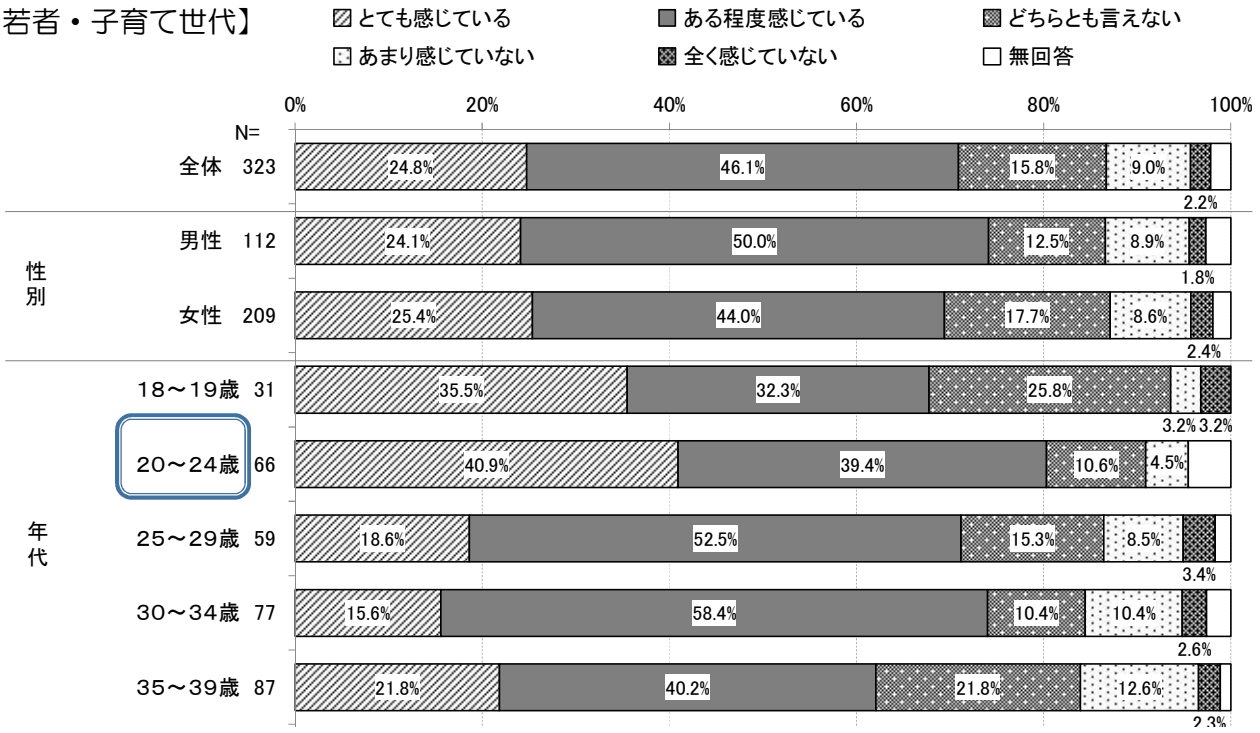


【中学生意識調査】



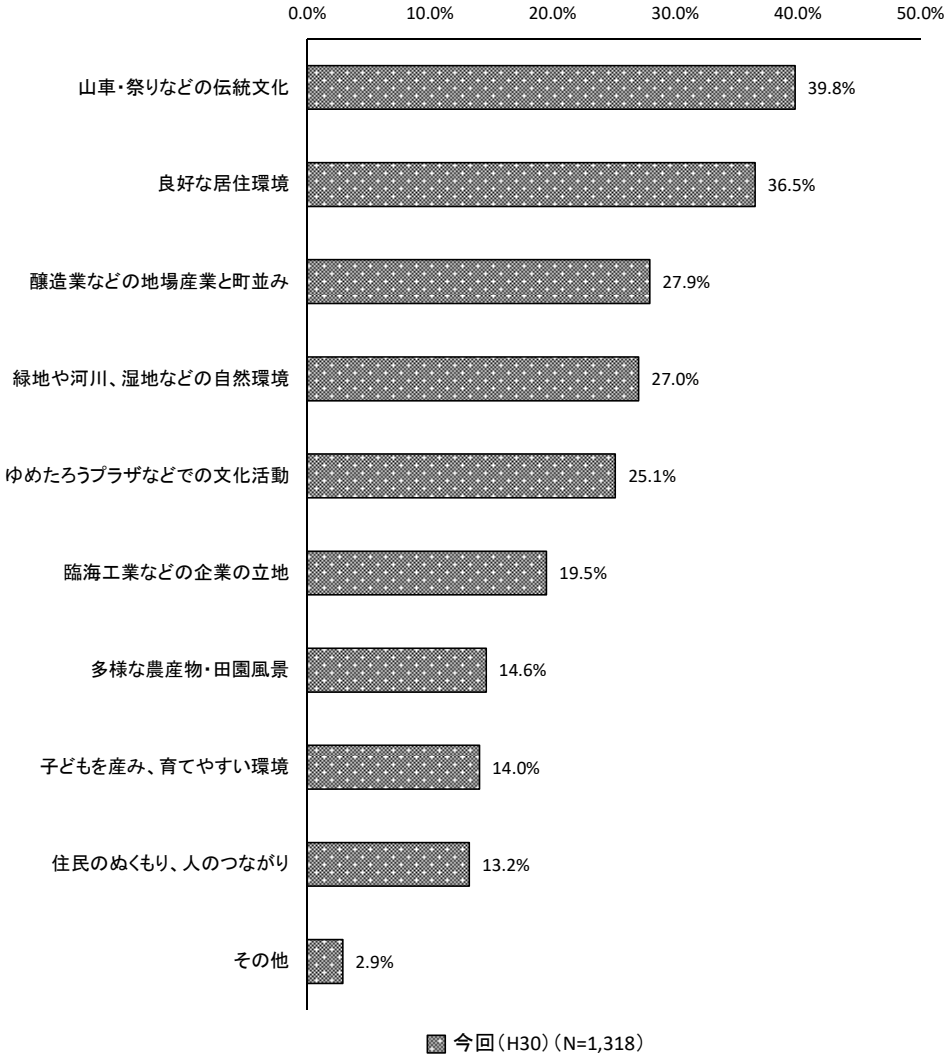
『図表-６　武豊町への愛着や親しみ』

【若者・子育て世代】



『図表-7　町の魅力、自慢できること』（３つまで回答可）

【町民意識調査】



（4）まちづくりに対する評価

・町民意識調査では、第５次総合計画で取り組みを進めている 22 項目のめざすべきまちの姿について、満足度と重要度を評価しました。その結果、『重要度指数』が高いにも関わらず『満足度指数』が低い「重点改善分野」には次の４施策が該当する結果となりました。

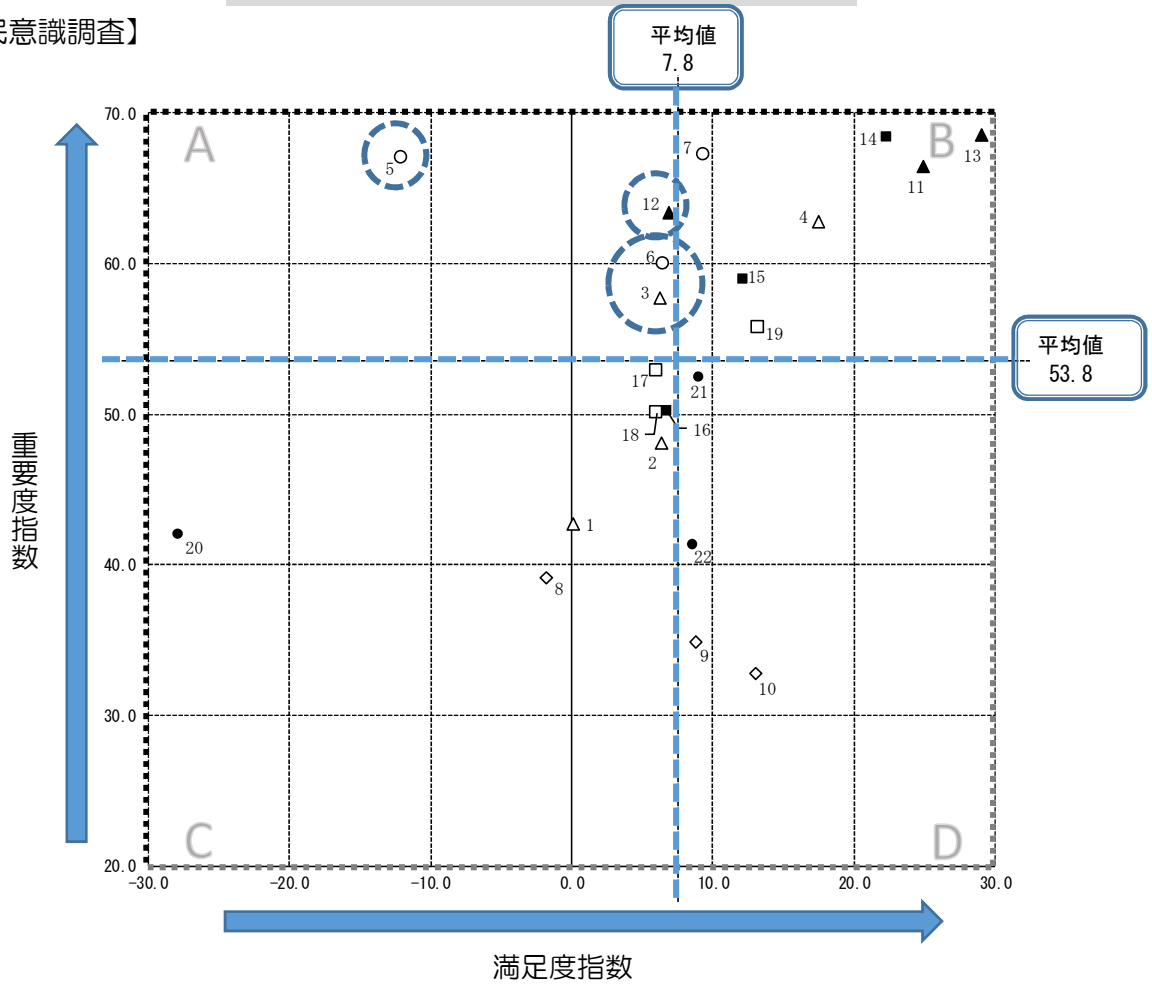
- **徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち（基本目標２）**
- **働きながらでも子育てをしやすい環境が整っているまち（基本目標４）**
- **道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち（基本目標２）**
- **住民に満足される行政サービスが行われているまち（基本目標１）**

『図表-８　満足度指数と重要度指数からみた施策評価の考え方』

重要度指数（高い／低い）	満足度指数（低い）	満足度指数（高い）
高い	A 重点改善分野 町民が重要と感じている項目でありながら満足度が低い。重点的に課題解決に取り組む必要がある分野。	B 継続増進分野 町民が重要と感じており、満足度も高い。現在の施策水準を維持または増進していく必要がある分野。
低い	C 改善分野 町民は重要と感じていない項目で満足度も低い。事業の必要性の検証や内容の見直し等の改善が必要となる分野。	D 維持分野 町民は重要と感じていない項目であるが満足度は高い。事業の必要性を検証し、満足度を維持していく分野。

『図表-９　満足度指数と重要度指数　散布図』

【町民意識調査】



基本目標	表示	No	施策項目	満足度指数	重要度指数
基本目標１	△	1	住民がまちづくりに参画しやすい	0.1	42.7
	△	2	情報が相互に発信されている	6.4	48.1
	△	3	住民に満足される行政サービスが行われている	6.3	57.7
	△	4	健全に行財政が運営されている	17.4	62.8
基本目標２	○	5	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	-12.1	67.1
	○	6	道路や公共交通を利用して気軽に移動できる	6.5	60.0
	○	7	災害への備えや日常生活の安全性が確保されている	9.3	67.3
基本目標３	◇	8	集い・憩える魅力的な場所がある	-1.7	39.1
	◇	9	誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できる	8.8	34.8
	◇	10	地域活動が活発に行われている	13.1	32.8
基本目標４	▲	11	安心して子どもを生み育てることができる	24.9	66.5
	▲	12	働きながらでも子育てをしやすい環境が整っている	6.9	63.4
	▲	13	子どもが楽しく学校生活を送っている	29.1	68.6
基本目標５	■	14	楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられる	22.4	68.4
	■	15	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	12.2	58.9
	■	16	みんながお互いを理解しやさしい心を持っている	6.8	50.2
基本目標６	□	17	みんなが自然環境を大切にしている	6.0	52.9
	□	18	環境へ負荷をかけない生活環境になっている	6.0	50.0
	□	19	快適で豊かな住環境が整っている	13.2	55.8
基本目標７	●	20	中心市街地がにぎやかに活気づいている	-27.9	42.0
	●	21	産業が活性化している	9.0	52.5
	●	22	住民が誇りを持って生活している	8.6	41.3
			平均値	7.8	53.8

※「基本目標１～７」は、第５次武豊町総合計画の「まちづくりの基本目標」に相当。

（５）今後のまちづくり

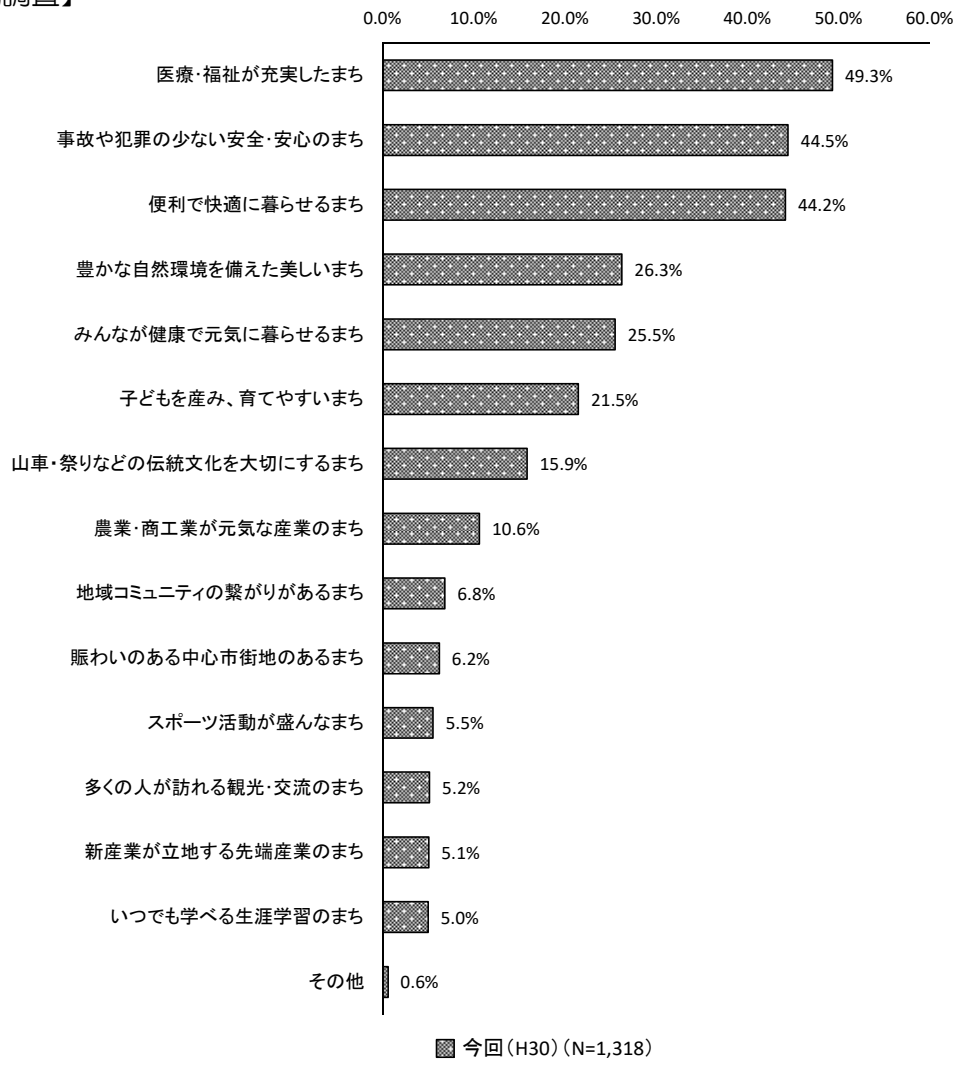
・『図表-１０　将来の町のイメージ』では、町民意識調査で**「医療･福祉が充実したまち」**、**「事故や犯罪の少ない安全･安心のまち」**、**「便利で快適に暮らせるまち」**の３つが４割を超える高い回答を得ています。

・『図表-１１　人口減少に対応するための取組（重要となる取組）』では、町民意識調査で「**若い世代の就労、正社員化を支援**し、若者の定着を図る」、「**子育てのための環境整備**を進め、子育て世代の定着を図る」、「**高齢者が健康で元気に暮らすまちづくりを進め、医療･福祉の経費負担を軽減**する」の３つが概ね４割前後の回答を得ています。

・『図表-１２　子育てしやすい町と誇れるようにする取組』では、若者・子育て世代アンケートで今後力を入れるべきこととしては、「**子育てしながら働ける職場環境**」、「**保育サービス**」、「**医療体制**」、「**公園整備**」などが求められています。

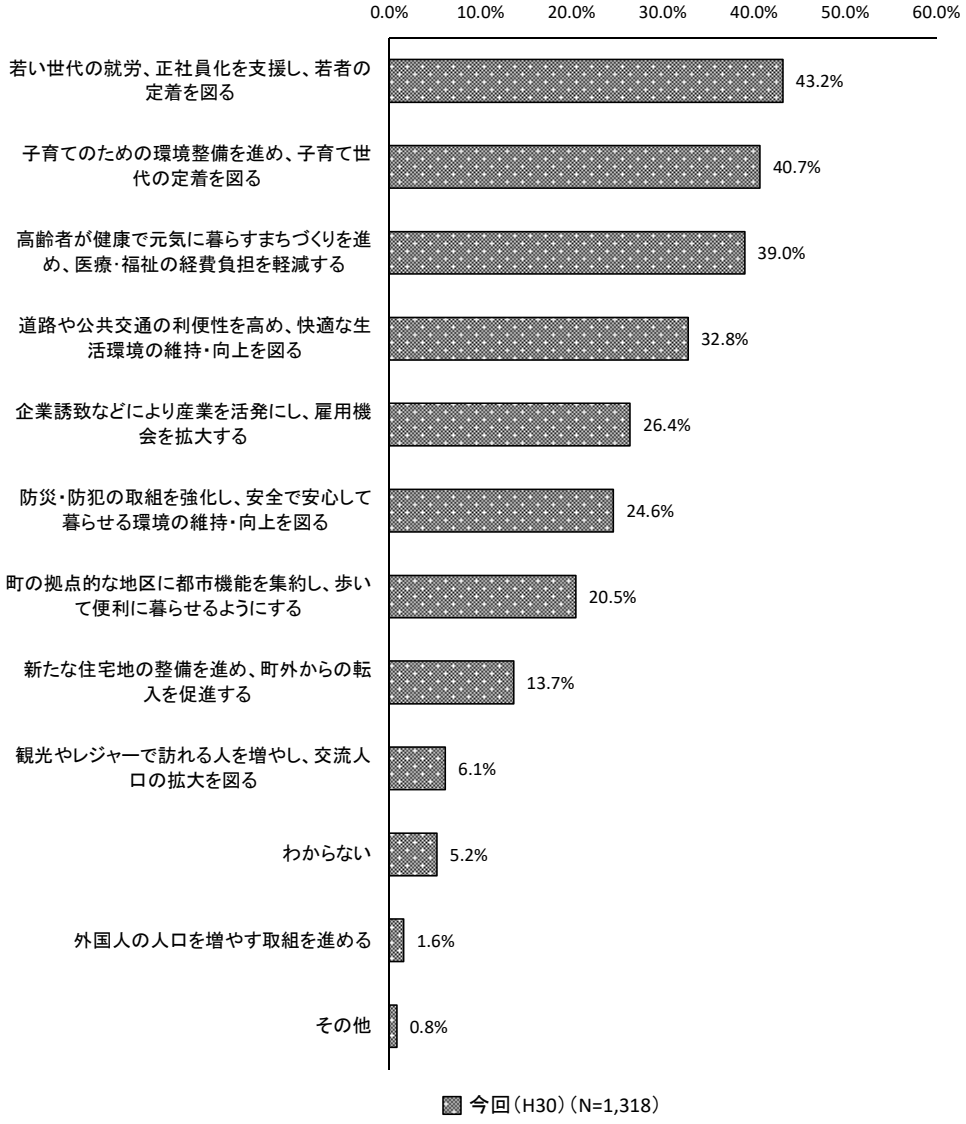
『図表-１０　将来の町のイメージ』（３つまで回答可）

【町民意識調査】



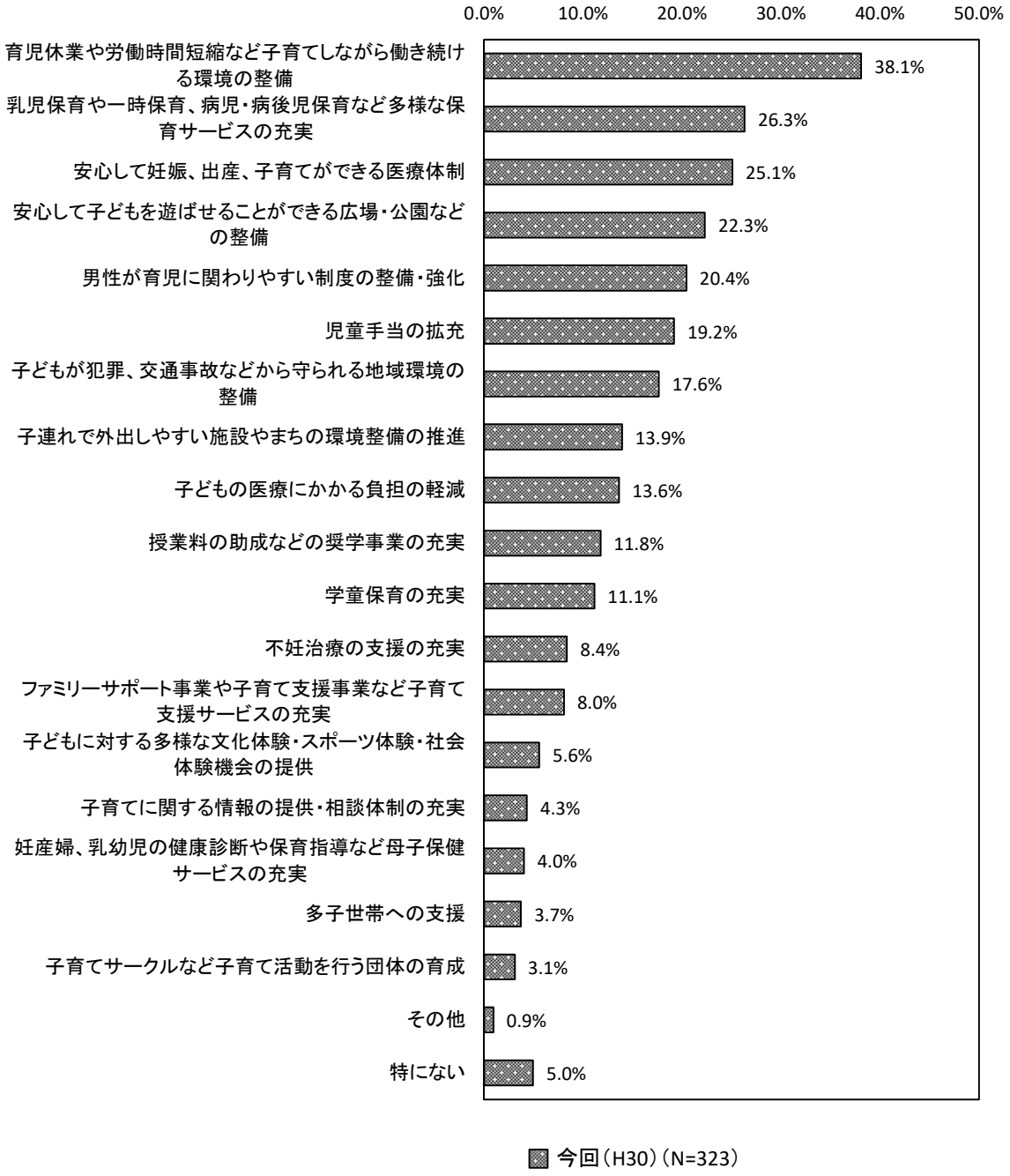
『図表-１１　人口減少に対応するための取組』（３つまで回答可）

【町民意識調査】



『図表-１２　子育てしやすい町と誇れるようにする取組』（３つまで回答可）

【若者・子育て世代】



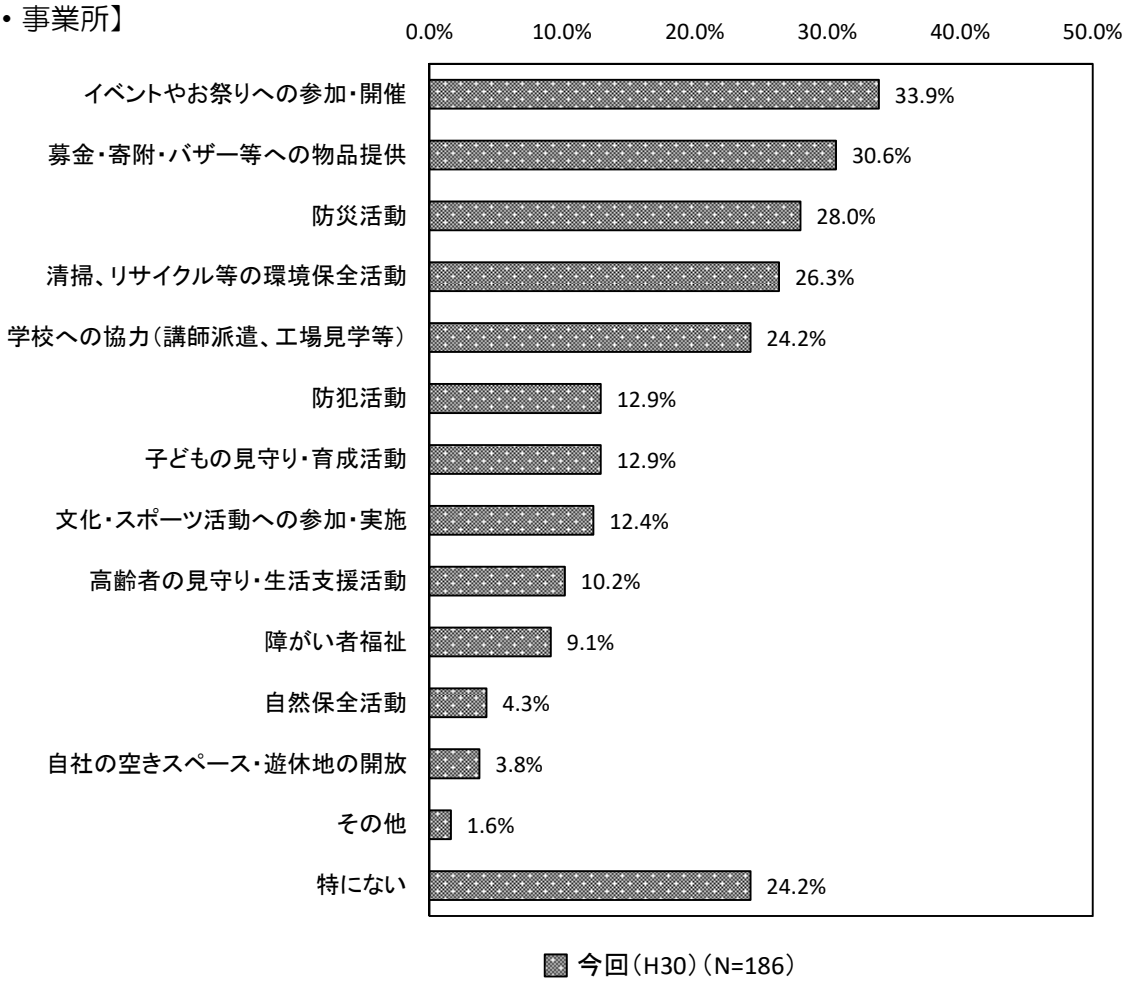
イ　調査の結果【④】

（１）企業・事業所の動向、今後の展望

・『図表-１３　協働のまちづくりとして取り組んでいること』では、**協働のまちづくりとして会社や従業員で何らかのことに取り組んでいる事業所が大半**で、「特にない」と回答する事業所は少数です。

『図表-１３　協働のまちづくりとして取り組んでいること』（あてはまるすべてに回答）

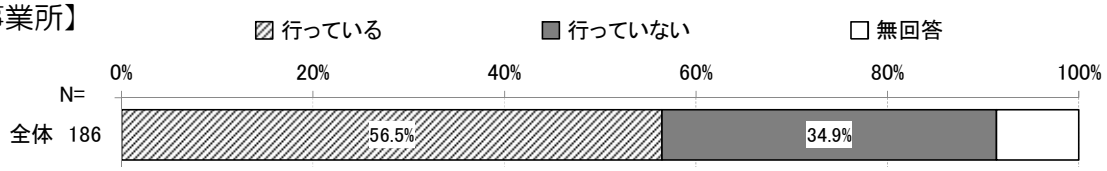
【企業・事業所】



・『図表-１４　仕事と子育ての両立支援の有無』では、**事業所の約６割では、仕事と子育ての両立に向けて支援を行っていると回答**しており、休暇が取りやすい環境、短時間勤務制度の導入などの支援を実際に行っています。(『図表-１５　仕事と子育ての両立のために行っている支援内容』)
・今後も継続的に取り組んでいくとする事業所が多くなっています。
・しかし、『図表-１６　子育てをする人にとっての働きやすさ』（若者・子育て世代へのアンケート）では、職場が子育てする人にとって働きやすいかについては、約４割（39.8%）が働きやすいと『思わない』と回答しており、「日常的に労働時間が長い」、「有給休暇が取りづらい雰囲気がある」などをその理由としてあげています。（『図表-１７　働きやすくない原因』）

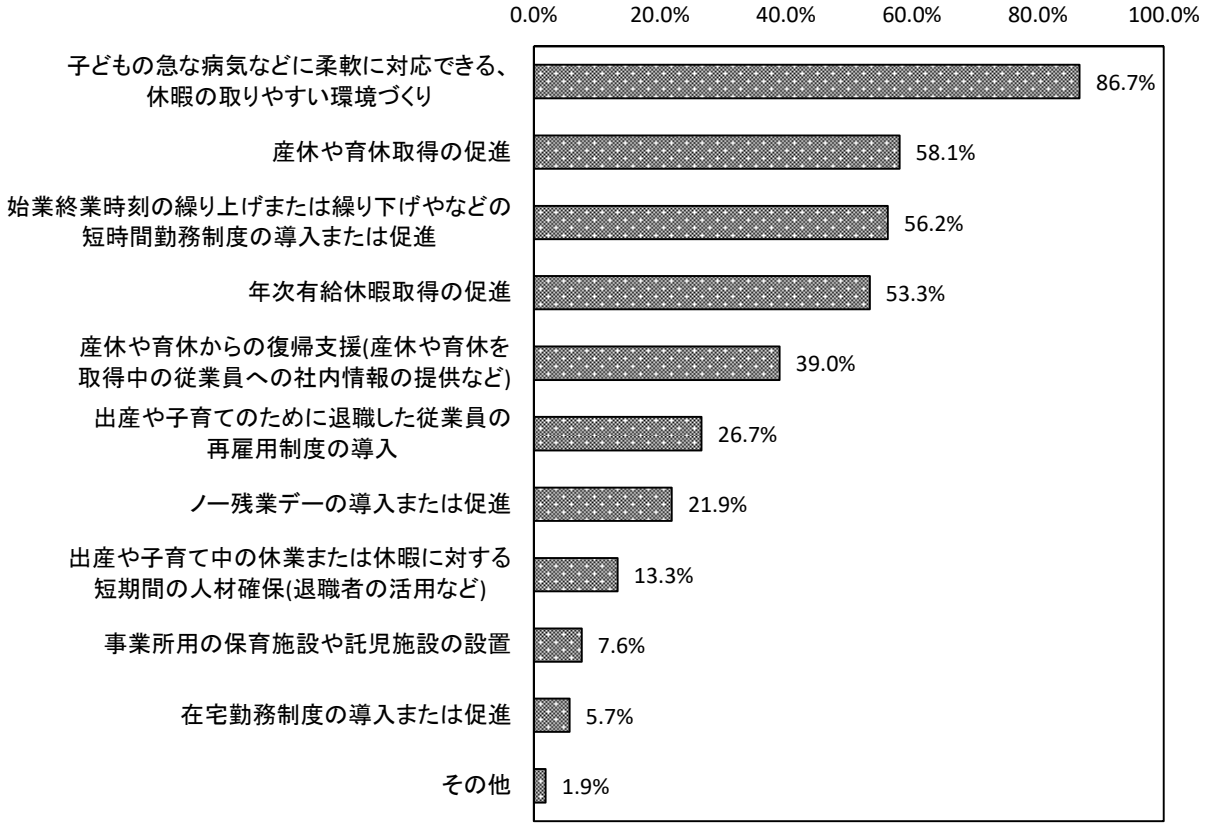
『図表-１４　仕事と子育ての両立支援の有無』

【企業・事業所】



『図表-１５　仕事と子育ての両立のために行っている支援内容』（あてはまるすべてに回答）

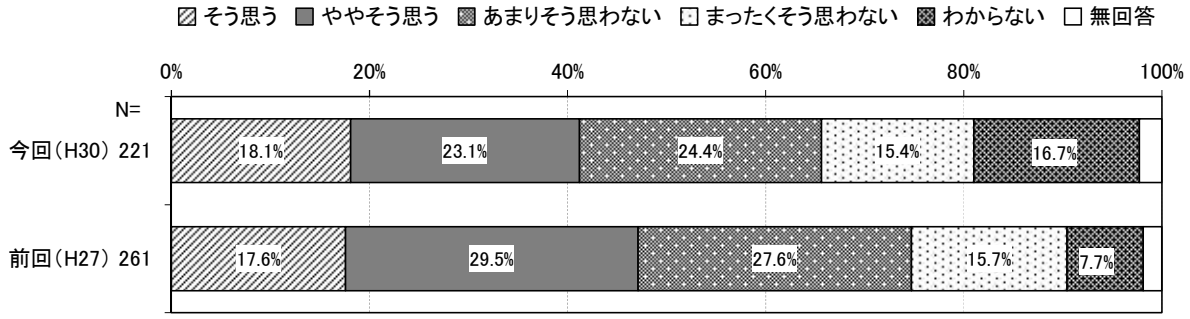
【企業・事業所】



（N＝105）

『図表-１６　子育てをする人にとっての働きやすさ（前回調査比較）』

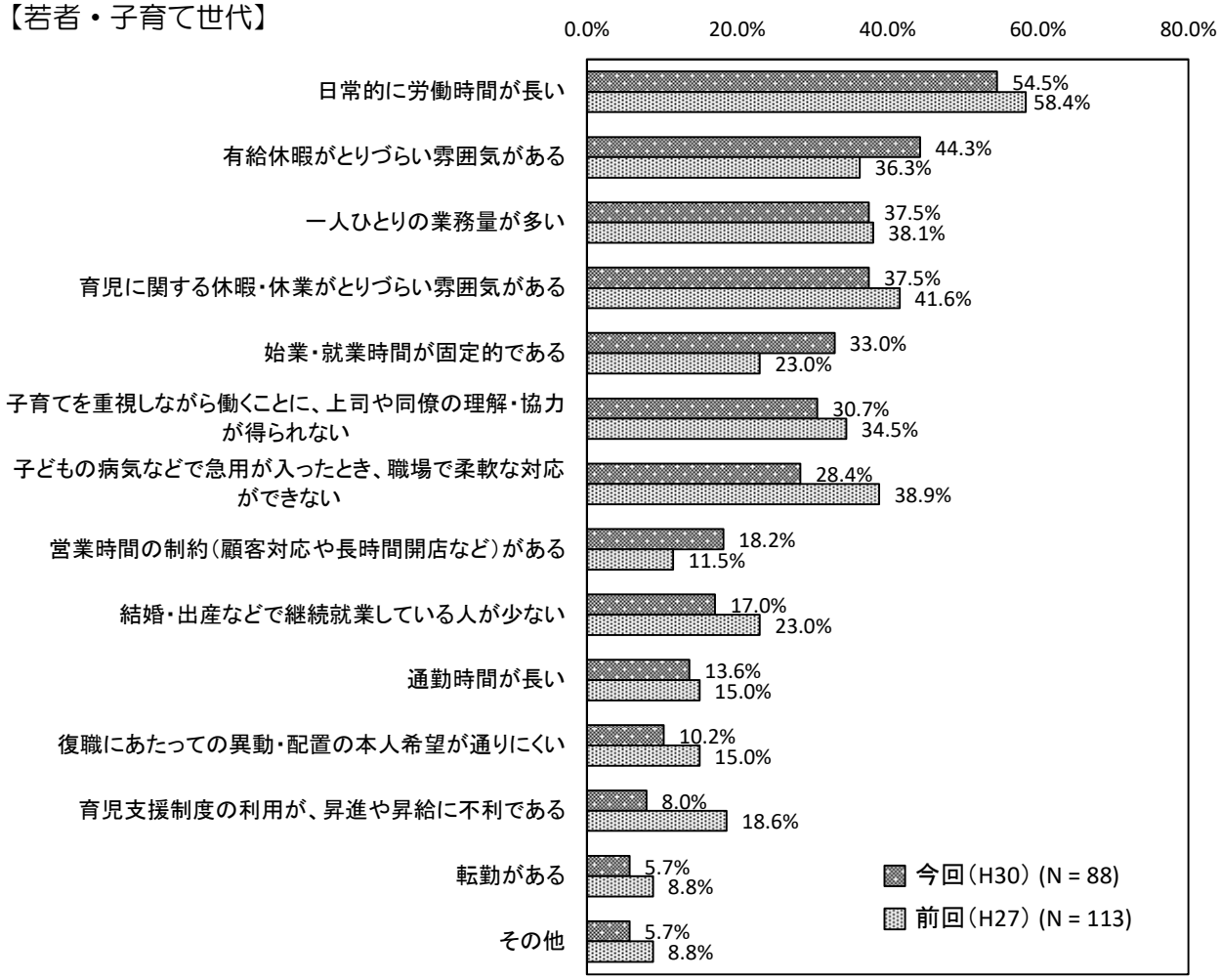
【若者・子育て世代】



※若者・子育て世代アンケート調査は平成 29 年は未実施。

『図表-１７　働きやすくない原因（前回調査比較）』（あてはまるすべてに回答）

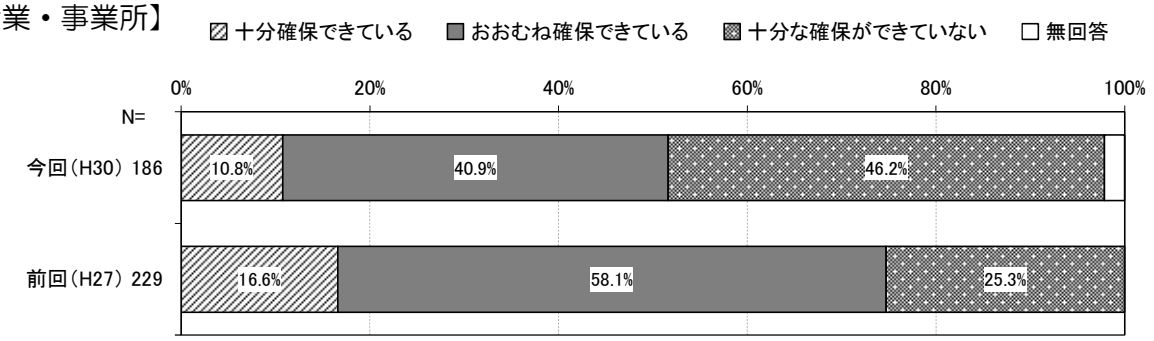
【若者・子育て世代】



・『図表-１８　人材確保の見通し』の人材確保についてでは、**「十分な確保ができていない」が半数近くを占めており**、従業員の確保を考えている事業所が増えています。
・従業員増を考える事業所では、正規労働者を確保したいと考える事業所が増えています。(『図表-１９　増加したい人材の勤務形態』)
・『図表-２０　大きな影響を受けると思われる要因』では、今後の業績の展望を考えるうえで大きな影響を受けると思われる要因としては、「人件費コスト」が最も多くなっており、また、立地場所に対する評価としては、労働力を確保することが難しい場所だと評価されています。(『図表-２１　事業所の立地場所としての評価』)
・今後のビジネス展開を行うために必要なこととしては、「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」が強く求められています。(『図表-２２　今後のビジネス展開を行うために必要なこと』)

『図表-１８　人材確保の見通し（前回調査比較）』

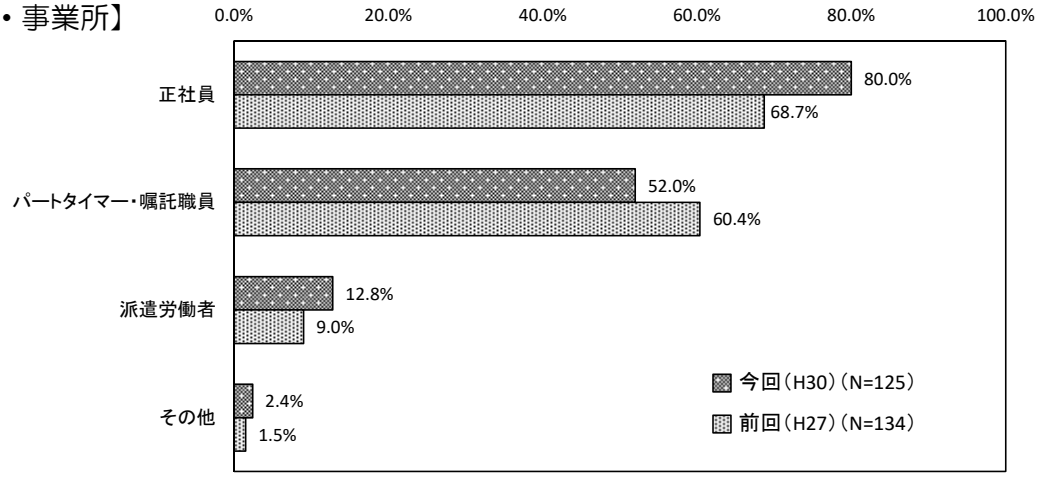
【企業・事業所】



※企業・事業所アンケート調査は平成 29 年は未実施。

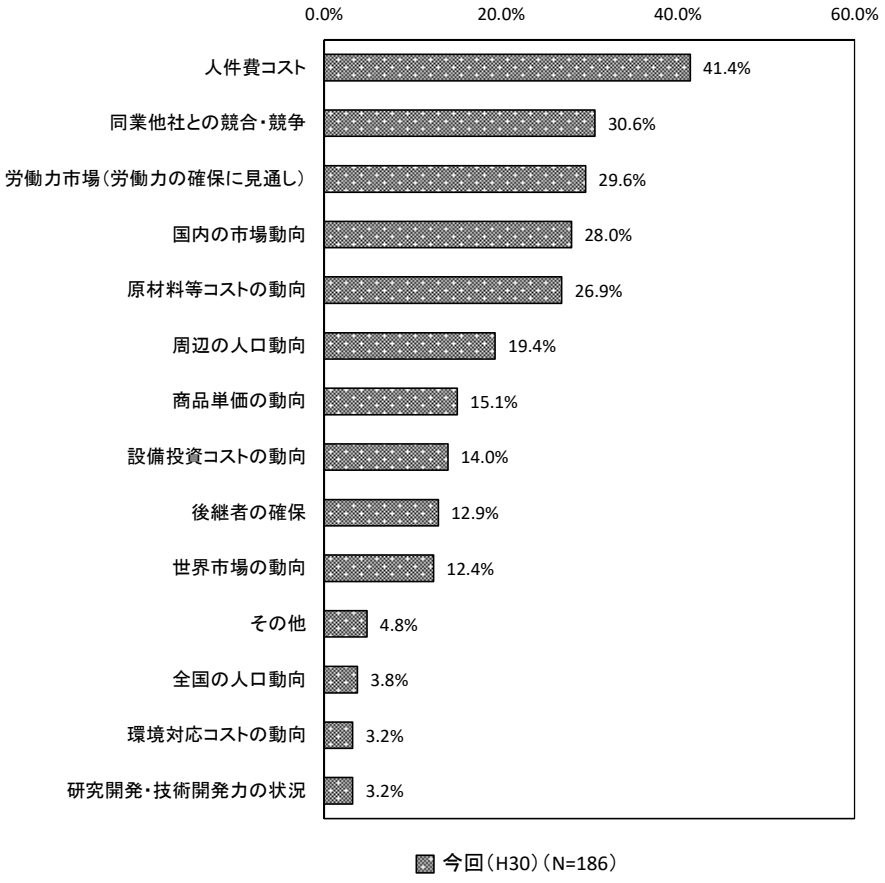
『図表-１９　増加したい人材の勤務形態（前回調査比較）』

【企業・事業所】



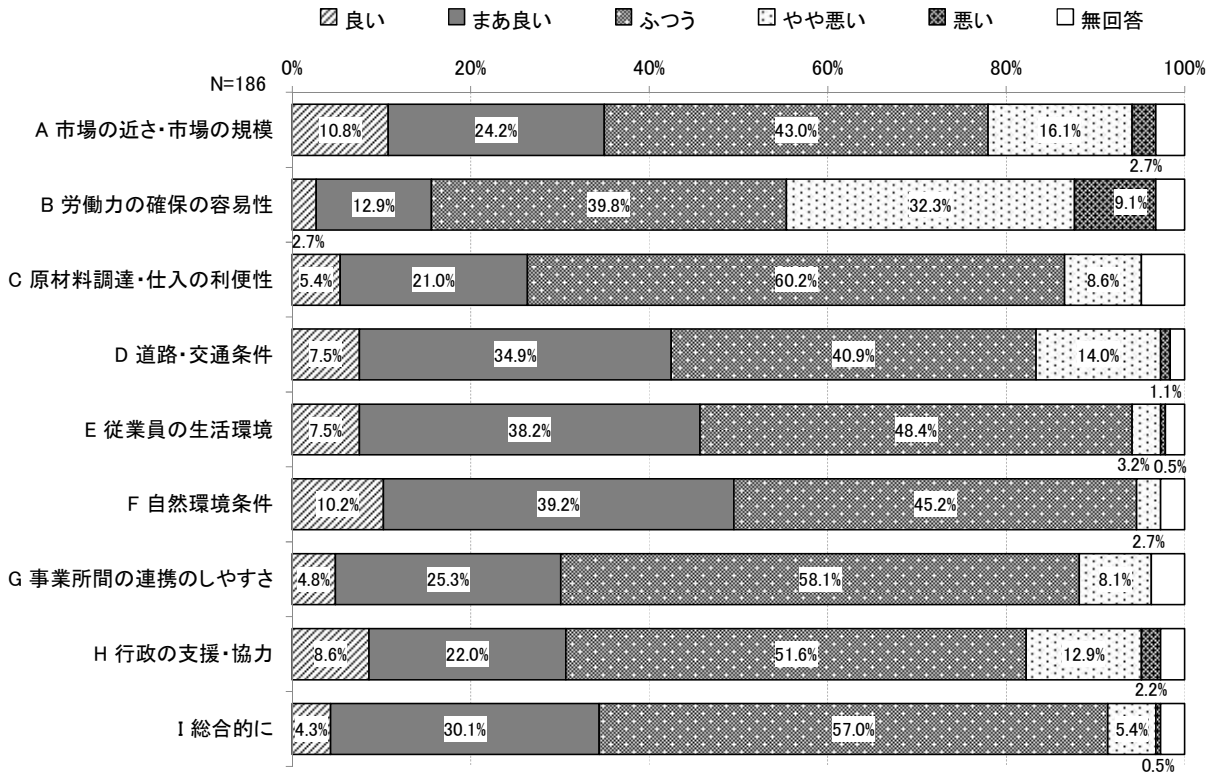
『図表-２０　大きな影響を受けると思われる要因』（３つまで回答可）

【企業・事業所】



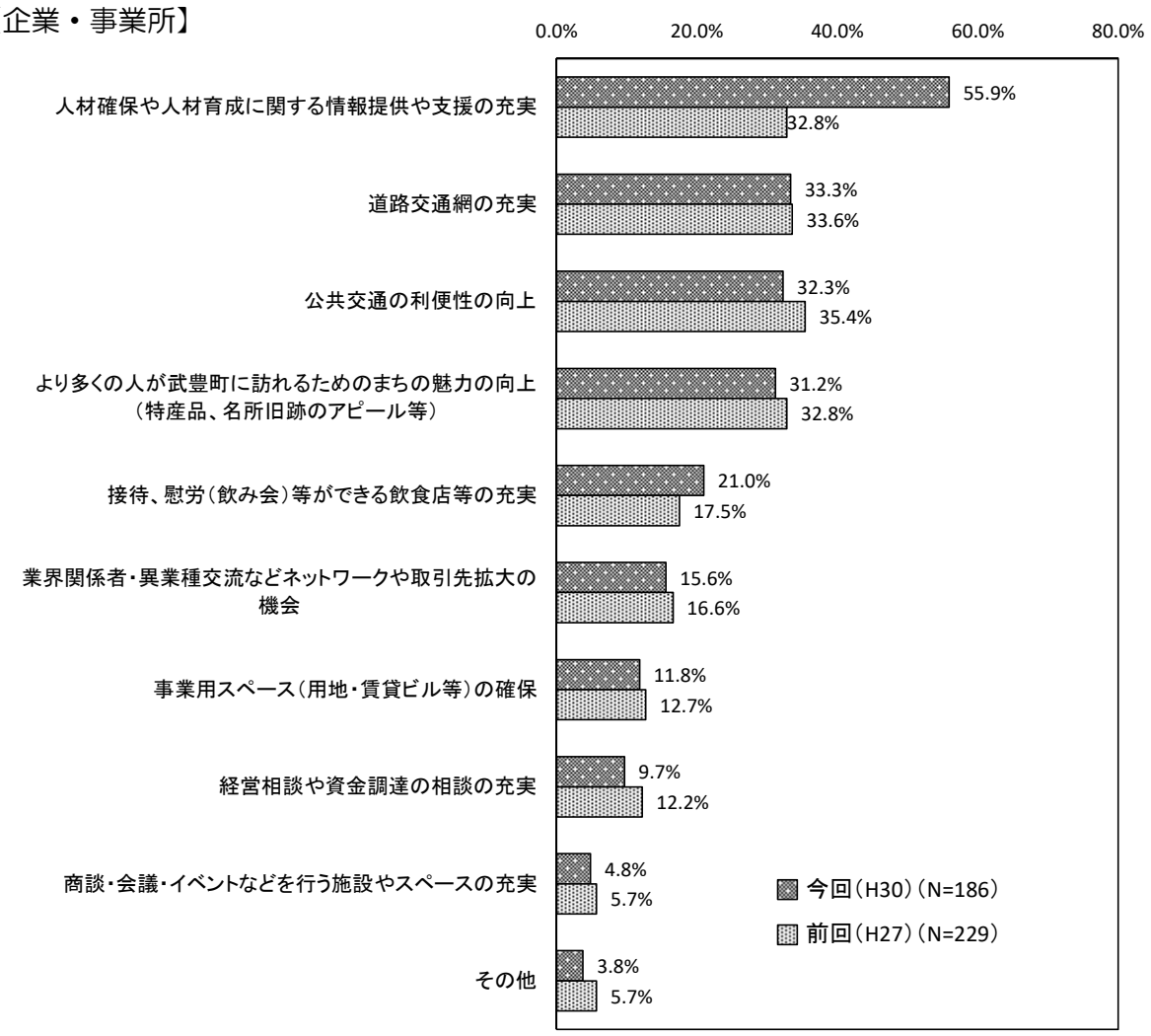
『図表-２１　事業所の立地場所としての評価』

【企業・事業所】



『図表-２２　今後のビジネス展開を行うために必要なこと（前回調査比較）』（あてはまるすべてに回答）

【企業・事業所】

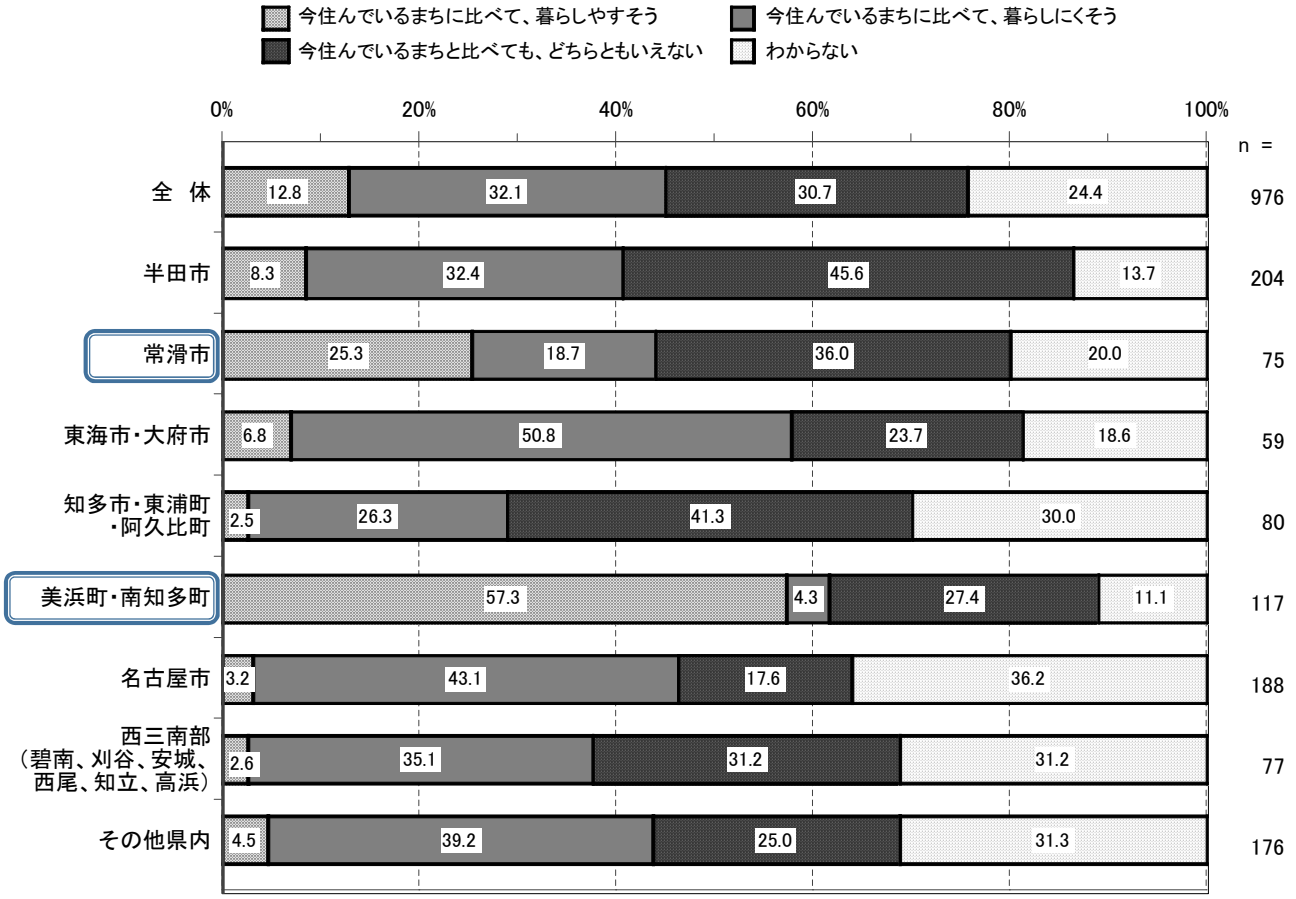


ウ　調査の結果【⑤】

・『図表-２３　居住地別武豊町の暮らしやすさ』では、他市町からみた武豊町の暮らしやすさについては、「どちらともいえない」や「わからない」が半数以上を占めるものの、「暮らしやすそう」より「暮らしにくそう」の方が多くなっています。**常滑市、美浜町、南知多町では「今、住んでいるまちより暮らしやすそう」が多くなっています。**

『図表-２３　居住地別武豊町の暮らしやすさ』

【来訪者 Web アンケート】

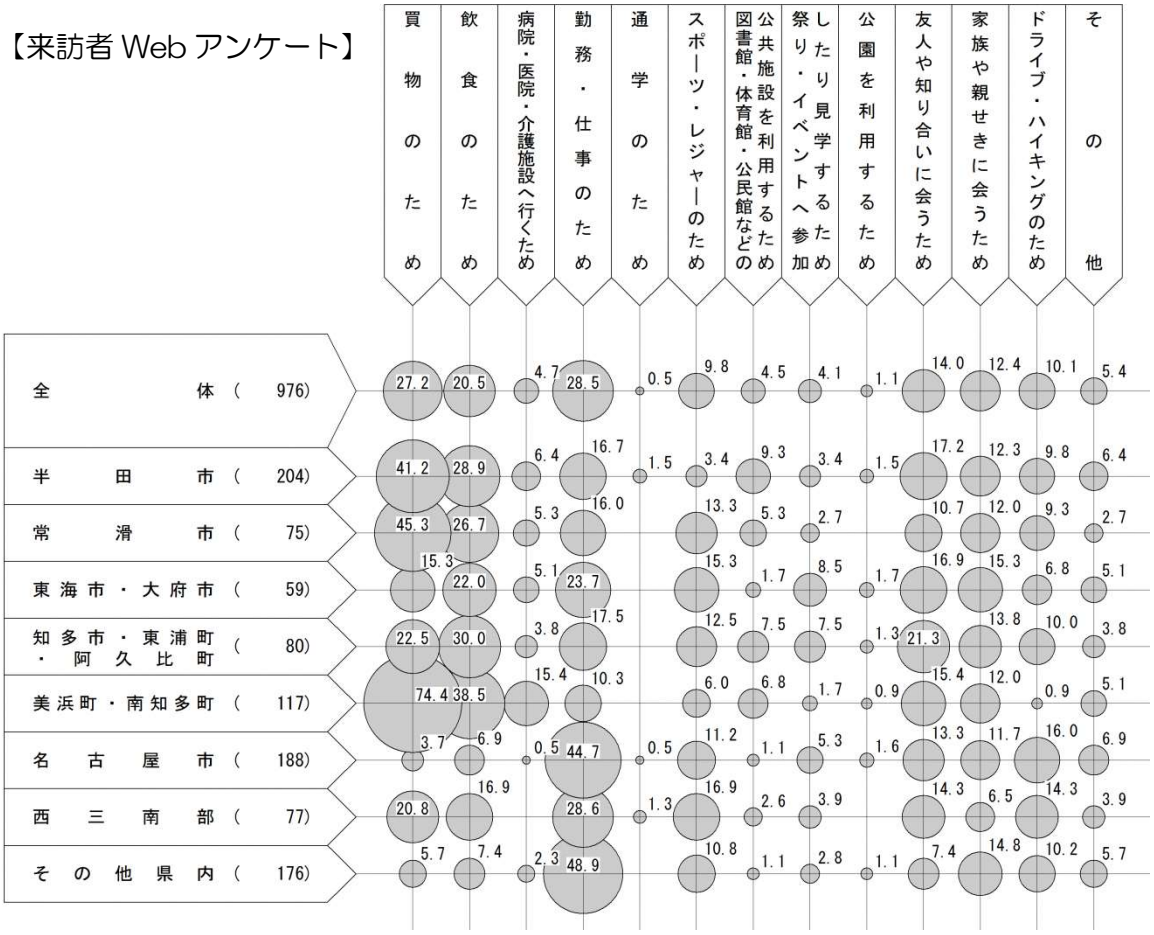


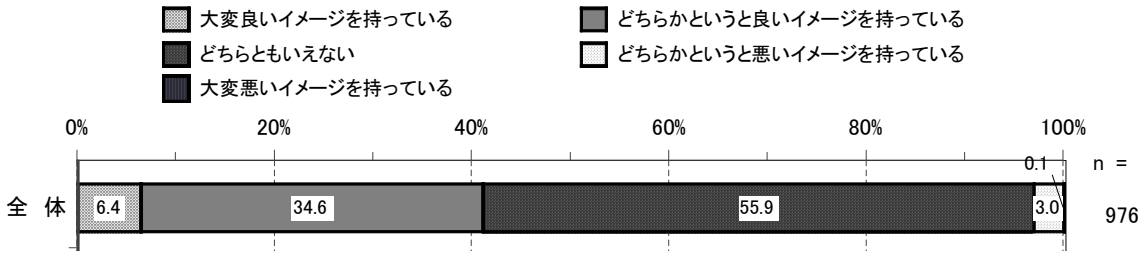
・『図表-２４　居住地別、武豊町への来訪目的』では、Web 来訪者調査によると、武豊町への主な来訪目的は買い物、飲食、仕事が多くなっています。

・他市町の住民からみて、**武豊町に対して悪いイメージを持っている人は非常に少ないものの、明確なプラスのイメージを持っている人は多くはない**ことがうかがえます。（『図表-２５　武豊町のイメージ』）

『図表-２４　居住地別、武豊町への来訪目的』

【来訪者 Web アンケート】



『図表-25　武豊町のイメージ』

【来訪者 Web アンケート】